

Inter BEE 2024

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2024

会 期：幕張メッセ会場：2024年11月13日（水）～15日（金）
 会 場：幕張メッセ
 主 催：（一社）電子情報技術産業協会
 共 催：第61回民放技術報告会／全映協フォーラム 2024 in 幕張
 後 援：総務省／経済産業省（建制順）／NHK／（一社）日本民間放送連盟（JBA）／（一社）電波産業会（ARIB）／
 （一財）デジタルコンテンツ協会（DCAJ）／（一社）放送サービス高度化推進協会（A-PAB）
 対 象：映像・音響制作者、放送事業者、及び、インターネット・通信・照明・舞台・エンタメ・メディアビジネス関係者
 公式サイト URL：<https://www.inter-bee.com/>

総来場者数（参加数）：33,853人
 内訳：（国内入場者数（参加数）：32,848人 海外入場者数（参加数）：1,005人）
 出展社数：1,058社
 内訳：（国内出展社数：503社 海外出展社数：555社）
 出展参加国と地域数：36の国と地域
 プレス社数：227社

■開催内容

今回で60回目を迎えるInter BEEはメディア&エンターテインメント産業界に広く認知され、音響、映像、放送、ライブエンターテインメント、ライティング、通信・配信関連等のプロフェッショナルはもとより、幅広い分野の技術者・クリエイター・ステークホルダーが一堂に会する日本最大級のメディア総合展示会として開催された。会期終了後は公式ウェブサイトにて、出展各社の展示製品・サービスの紹介や、コンファレンスのセッション動画のアーカイブ配信を通じた情報発信を行った。

本年の出展者数は1,058社／団体（うち海外35カ国・地域／555社）、幕張メッセ会場の登録来場者数は33,853名となる開催規模となった。

国際会議場では基調講演および特別講演、展示会場では特別企画のオープンステージにて企画セッションを実施。業界のエキスパートによる各分野の最新動向の発表や課題の提案等、多様なコンファレンスが展開された。また会期初日には、東京ベイ幕張ホール（アパホテル&リゾート東京ベイ幕張）において、60回開催記念レセプションパーティーを開催。業界関連団体関係者、出展者、業界関連プレス、コンファレンス関係者、ユーザ（放送局、映像制作等）等計525名が参加し、有益な交流・情報交換の場がもたれた。

イベントホールで実施された国内最大級のSRスピーカー試聴イベント『INTER BEE EXPERIENCE X-Speaker』や、ヘッドフォン／マイクロフォンの試聴体験エリア『INTER BEE X-Headphone | X-Microphone』が注目を集め、音響業界のみならず、メディア・エンターテインメント業界の幅広い関係者の来場につながった。

60回目の記念開催にあたり、メディア&エンターテインメント産業界の「未来を見据え、新たな10年への扉を開く」取り組みとして、初めての試みとなる『INTER BEE AWARD』を創設。展示されている技術・製品・サービス・ソフトウェア・コンテンツ等を対象として、審査委員会の厳正な審査により、優れた展示案件を選出しレセプションパーティーにて表彰式を実施した。

更に60回開催記念の特別企画『INTER BEE CINEMA』では、映画制作技術に焦点を当てた体験型シネマコミュニティを展開した。日本の最前線で活躍する技術者とプロが集まり、リアルに再現したセットにてライブデモンストレーションを行い、映画制作のテクニクや創造性を発信した。



オフィシャルイベント

Inter BEE 2024

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2024

■ 2024年度の新規取り組みとその成果・特色など

- ・『INTER BEE AWARD』を新規設立し、出展製品・技術・サービス・ソフトウェア及びコンテンツ等から、優れた展示案件に対して表彰し内外に発表。
- ・特別企画『INTER BEE CINEMA』を新規設立し、映画制作技術に焦点を当てた体験型シネマコミュニティとして実施。
- ・スマートフォンのAR機能を使った新感覚スタンプラリーを実施。会場内にあるチェックポイントでスタンプを集め、クリアした来場者へARガチャで景品を進呈。

■ 他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数や成果

- ・第61回民放技術報告会
- ・全映協フォーラム 2024 in 幕張

